

(令和8年4月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	<p>4月の上旬は全国的に暖かい空気が流れ込むような日もあり、中旬まで気温が高く、多くの品目で順調な入荷だったが、下旬になり気温低下により茄子、ピーマンなど数量が減少した品目の影響で、総入荷量は3%下回った。総取扱金額は、過去2年不安定な天候の影響で高単価となった西洋にんじんが平年並みの単価に戻った影響や、サン富士など秀品率が低く単価を下げた品目の影響で5%下回った。今後は気温の高い日が続くと予報もあり、入荷量、単価とも平年並みが予想される。</p> <p>5月は、野菜では、実山椒や実えんどうが最盛期を迎え、青梅の入荷が始まる。果実では、マンゴーや桜桃の入荷が増え、メロン類が最盛期を迎える。</p>
野 菜	<p>野菜全般の入荷量は前年同月比で4%下回ったが、単価は前年同月並みであった。</p> <p>根菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は28%下回った。</p> <p>葉菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は6%下回った。</p> <p>果菜類の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は5%上回った。</p> <p>土物類の入荷量は前年同月比で10%下回ったが、単価は前年同月並みだった。</p>
果 実	<p>果実全般の入荷量、単価ともに前年同月並みであった。</p> <p>かんきつ類の入荷量は前年同月比で22%上回り、単価は20%下回った。</p> <p>りんご類の入荷量は前年同月比で9%下回ったが、単価は秀品率の低い品目の影響で8%下回った。</p> <p>いちご類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は11%上回った。</p> <p>メロン類の入荷量は前年同月比で18%上回り、単価は14%下回った。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<b>【根菜類】</b>	
長だいこん	香川、鹿児島、長崎、滋賀、千葉などから入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、気温の上昇の影響で秀品率が低く単価は28%下回った。
西洋にんじん	徳島を中心に、長崎などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は42%下回った。
たけのこ	京都を中心に、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で13%上回り、単価は19%下回った。
<b>【葉菜類】</b>	
はくさい	茨城、兵庫、長崎を中心に入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は19%下回った。
キャベツ	愛知を中心に、滋賀、神奈川、兵庫、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で5%下回ったが、単価は前年同月並みだった。
ほうれんそう	茨城を中心に岐阜、福岡、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は7%上回った。
レタス	兵庫を中心に徳島、茨城、長崎、山梨などからも入荷した。入荷量は前年同月比で21%上回ったが、単価は前年同月並みだった。
<b>【果菜類】</b>	
きゅうり	宮崎を中心に、滋賀、高知、福岡、佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で13%下回り、単価は14%上回った。

なす	高知を中心に岡山から入荷した。入荷量は前年同月比で6%下回り、単価は3%上回った。
とまと	熊本、福岡を中心に入荷した。入荷量は前年同月並みだったが、単価は3%上回った。
ピーマン	宮崎を中心に高知、茨城などから入荷した。入荷量は前年同月比で8%下回ったが、単価は中旬までの入荷増の影響で5%下回った。
<b>【土物類】</b>	
ぼれいしょ (メイクイン含む)	鹿児島、北海道を中心に長崎から入荷した。入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は前年同月並みだった。
たまねぎ	長崎、兵庫、北海道を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は14%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏かん	鹿児島、熊本、愛媛、福岡、和歌山などから入荷した。入荷量は前年同月比で15%上回り、単価は17%下回った。
清美オレンジ	和歌山を中心に佐賀から入荷した。入荷量は本年が収穫量の少ない裏年にあたり前年同月比で4%下回ったが、単価は秀品率が低く27%下回った。
富士 (サン富士含む)	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で3%下回ったが、単価は秀品率が低く10%下回った。
いちご	福岡、熊本、大分、佐賀、長崎などから入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は11%上回った。
アールスメロン	静岡を中心に高知から入荷した。入荷量は前年同月比で6%上回り、単価は10%下回った。
大玉すいか	熊本を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で12%上回り、単価は16%下回った。